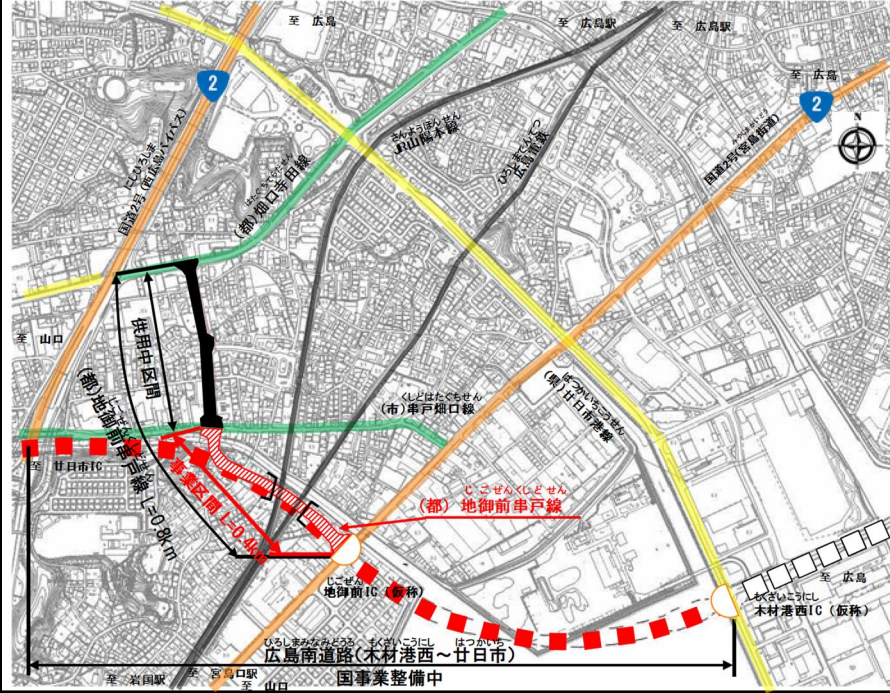


新規事業採択時評価結果(令和7年度新規事業化箇所)

担 当 課： 都市局 街路交通施設課
担 当 課 長 名： 青柳 太

事業の概要

事業名	地高ICアクセス 都市計画道路 地御前串戸線	事業区分	街路	事業主体	廿日市市
起終点	自：広島県廿日市市地御前一丁目 至：広島県廿日市市串戸四丁目	延長	0.4km		
事業概要	都市計画道路 地御前串戸線は、廿日市市地御前地区を起点とし、廿日市市串戸地区へ至る延長約0.8kmの都市計画道路である。 本事業は、広島南道路への一次アクセス道路として、JR山陽本線と広島電鉄宮島線との立体交差を含む、廿日市市地御前一丁目から廿日市市串戸四丁目の未供用区間である延長0.4kmのICアクセス道路整備事業である。				
事業の目的、必要性	当該事業の整備により、現在事業中である地域高規格道路広島南道路の地御前IC（仮称）への一次アクセス道路となり、宮内工業団地から広島港、および広島市街地へのアクセス強化が図られる。 また、地元住民が踏切のない道路を利用することで、利便性や第一次緊急輸送道路である国道2号（宮島街道）へのアクセス性が向上する。				
全体事業費	約 190億円	計画交通量	約 5,600台／日		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見

- ・都市計画決定の手続きにおいて、周辺住民と合意形成を図っている。（H9.5.8都市計画決定、H16.3.11一部変更）
- ・「廿日市市都市計画マスタープラン」や「廿日市市地域強靱化計画」において、幹線道路の整備促進箇所として位置づけている。

学識経験者等の第三者委員会の意見

—

対応方針（採択理由）

費用便益比が1.3と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。
また、広島南道路と併せて（都）地御前串戸線を整備することにより、廿日市市街地の交通・物流の円滑化や、緊急輸送道路である国道2号（宮島街道）へのアクセス強化が図られることから、当該事業の整備の必要性・効果は高いものと判断される。
以上により、本事業は令和7年度新規事業箇所として妥当であると考えられる。

事業評価結果(総合評価)

事業採択の前提条件
□便益が費用を上回っている
□事業実施環境が整っている

費用 便益 分析	B/C		(参考)	EIRR	総費用	124億円	総便益	165億円	((参考) 時間信頼性向上便益: 億円 CO2排出削減便益: 億円	感度分析		基準年
	[4%]	1.3 ()		5.1 % (%)	〔 事 業 費: 124 億円 維持管理費: 0.10 億円 更 新 費: 0 億円 〕	〔 走行時間短縮便益: 145 億円 走行経費減少便益: 17 億円 交通事故減少便益: 3.1 億円 〕	交通量変動	B/C＝1.3～1.4(変動ケース: ±10%)		令和6年		
	[2%]	2.4 ()						事業費変動			B/C＝1.2～1.5(変動ケース: ±10%)	
	[1%]	3.2 ()									事業期間変動	B/C＝1.1～1.6(変動ケース: ±20%)

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。
※B/Cは事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果。
※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。([]内は社会的割引率の値)

事業 の 影 響	評価項目		評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	【工業団地の生産性効向上】 ・宮内工業団地から広島港をつなぐ(県)廿日市港線は慢性的な渋滞が発生することで物流に課題があったが、広島南道路の地御前IC(仮称)に1次アクセス道路として整備することで、宮内工業団地から広島港、および広島市街地へのアクセス強化が図られ、生産性の向上が期待される。 [宮内工業団地～木材港西IC(仮称)間の平均旅行速度]整備前:30km/h → 整備後:50km/h(約20km/h向上)
		事故対策	—	注目すべき影響はない。
		歩行空間	○	【安全な歩行空間の確保】 ・現在歩道が無い区間に歩道が設置される。
	社会全体への影響	住民生活	◎	市民の生活道路である(市)串戸畑口線は、市街地にも関わらず道路幅員が狭く、歩道もない。また、2箇所の踏切(JR、広島電鉄)による慢性的な渋滞により、住民生活の利便性や歩行者の安全性が損なわれているが、本路線を整備することで、代替路線として住民生活の利便性や歩行者の安全性の向上が図られる。
		地域経済	—	注目すべき影響はない。
		災害	◎	【緊急輸送道路へのアクセス強化】 ・踏切のない道路を利用することで、第一次緊急輸送道路として位置づけられている国道2号(宮島街道)への利便性やアクセス性の向上が図られる。
		環境	—	注目すべき影響はない。
		地域社会	—	注目すべき影響はない。

事業実施環境
・当該道路と一体的に整備する一般国道2号広島南道路が令和4年度に事業化している。
・都市計画決定手続き完了(平成16年3月)

事業評価結果(防災機能)

事業の必要性		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等		
住民生活		
地域経済 地域社会		
その他		

事業の有効性									
道路ネットワーク の防災機能	主な区間		改善 ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度 の変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	

事業の効率性								
--------	--	--	--	--	--	--	--	--

※道路ネットワークの防災機能の値は、 を対象とした場合の値、()書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果。